

2013.5.20 決算委員会質問要旨（最新版）

2013.5.20 生活の党はたともこ

★HPV ワクチン（子宮頸がん予防ワクチン）について

* 質疑時間 13 分ですので、答弁はなるべく簡潔・明快にお願い致します。

①3/28 厚労委・矢島局長答弁（0.5%、0.2%、90%、90%）の確認。間違いはないか。

→矢島健康局長

②同、矢島局長答弁（産婦人科腫瘍学会ガイドライン）の確認。間違いはないか。

→矢島健康局長

③定期的な併用検診と適切な治療で、子宮頸がんは予防できると思うが、いかがか。

→矢島健康局長

④定期的な併用検診こそ予防の決め手。早急に体制をつくるべきではないか。

→厚生労働大臣

⑤MMR ワクチン接種の時と比較しても、HPV ワクチン即時接種中止、副反応について、328 万人の接種者全員に健康状況調査のハガキを送るなどして、全面的な調査を行うべきではないか。

→厚生労働大臣

⑥328 万人のワクチン接種者を全面調査し、因果関係を否定できない被害者全て、当初にさかのぼり、全面救済すべきではないか。

→厚生労働大臣

⑦被害者連絡会の要望にどう対応するのか。対象生徒と保護者に、必要性・有効性、副反応のリスク、メリット・デメリット、検診の重要性、喫煙のリスク、また性教育など、文部科学省として独自の周知徹底策を講じるべきではないか。

→文部科学大臣

⑧即時法定接種中止、副反応全面調査、被害者全面救済、定期的な併用検診体制確立を、担当大臣に厳命していただきたいが、いかがか。

→総理大臣